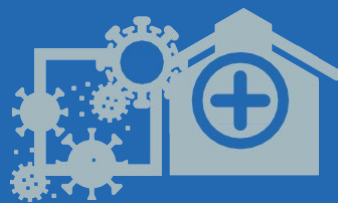


# ギニアビサウでの医療と社会的保護の向上によるCOVID-19による影響の食い止め



## ファクトシート

日本補正予算：2021年3月～2022年3月

予算：118万6,945米ドル

主なパートナー：

### 目的

国連開発計画（UNDP）は、ギニアビサウ政府による個人防護具、酸素、人工呼吸器などの調達を含む医療サービス提供の改善、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）コールセンターとデジタルアプリによる感染者追跡に関する一層の努力の支援、および試験的な3 x 6スキームの立上げと実施を行うためのJICAのカイゼン手法の活用を支援します。

### プロジェクトの成果

**成果1：**医療システムがCOVID-19の世界的大流行やその他の保健の危機に速やかに対処するための必要な手段を得ること

**成果2：**このプロジェクトはギニアビサウ政府、地元政府、およびコミュニティリーダーの連携によって実施され、COVID-19の世界的大流行により生活が困窮している弱者層とそのコミュニティを対象とした3 x 6スキームの試行にあたってJICAのカイゼン手法を活用します。このスキームは、3 x 6スキームの計画と実施に関するUNDPのグローバルな経験と教訓を十分に活用します。

### SDGsへの貢献

このプロジェクトは、SDGsの目標1、2、3、6および8に貢献します。



From  
the People of Japan

### 開発課題

2020年3月25日、ギニアビサウで2名のCOVID-19感染者が初めて公式に確認されました。多くの疫病の蔓延と脆弱なインフラのために、COVID-19の流行はギニアビサウにとって複雑化した危機となっています。検査能力の低さと病院の人手不足により、医療システムはすぐに限界を迎えました。

すべての集中治療室のスタッフをはじめとする医療スタッフの多数が感染し、人手不足はさらに深刻になりました。首都のビサウにおける感染状況は最も深刻です。非公式な経済活動の割合が極めて高く、その大部分を生カシューナッツの輸出が占めています。緊急事態宣言とロックダウンにより毎年行われるカシューナッツのキャンペーンは悪影響を受けました。

社会的な保護スキームが極めて限定的で、公共財政が枯渇していることから、政府には国民に対してセーフティネットを提供したり経済刺激策の実施を行う余力がありません。COVID-19は女性に偏って影響を与えています。多くの女性は最もひどい影響を受けた非公式セクターで働き、外出禁止措置によりジェンダーに基づく暴力が増加傾向にあるために、ジェンダー間の不平等を減らそうという近年の取り組みは反転するかもしれません。